

知り合う

次の言葉にはどれほどの真理が込められているでしょうか？「何を言うかではなく、その言い方が重要だ。」今の世の中では、このことはとても重要ですか、それともそうではありませんか。

今日の聖句 - マタイ 21:28-32 (聖書協会共同訳)

28「ところで、あなたがたはどう思うか。ある人に息子が二人いたが、彼は兄のところへ行き、『子よ、今日、ぶどう園へ行って働きなさい』と言った。29 兄は『いやです』と答えたが、後で考え直して出かけた。

30 弟のところへも行って、同じことを言うと、弟は『はい、お父さん』と答えたが、出かけなかった。31 この二人のうち、どちらが父親の望みどおりにしたか。」彼らが「兄のほうです」と言うと、イエスは言われた。「よく言っておく。徴税人や娼婦たちのほうが、あなたがたより先に神の国に入る。32 なぜなら、ヨハネが来て、義の道を示したのに、あなたがたは彼を信じず、徴税人や娼婦たちは信じたからだ。あなたがたはそれを見ても、後で考え直して彼を信じようとしなかった。」

(聖書 協会共同訳: ©日本聖書協会 Japan Bible Society, Tokyo 2018)

学び & アプリケーション

1. イエス様は祭司長や律法の権威に、彼らの抱える問題を認識させようとし始めました。

    a. 31節では、祭司長や律法の教師たちが、イエス様の質問に正しく答えることができました。この事は何を示していますか。(イザヤ書 42:20; マタイ 15:8)

    b. マタイによる福音書3章7節を読みましょう。上記と同じ人々が洗礼を受けに来るようですが、洗礼者ヨハネは彼らに洗礼を授けようとはしません。なぜでしょうか？彼らの問題は何なのでしょうか？(32節; マタイ 12:33-34)

適応: イエス様は、祭司長や律法の教師たちが、理性的で理解する能力を持っているにもかかわらず、イエス様を信頼することができないことを示しています。これは、彼らの内に要因があります。彼らの頑なな心が、神の御言葉による真理の啓示と、聖霊によるイエス様の証しを妨げています。

私たち信者は、どのようにして心の中の滞りを防ぐことができるのでしょうか。
(ローマ 12:2; マタイ 7:21)

2. このたとえ話をもう少し詳しく見てみましょう。福音を信じることが、信仰の御業につながることを忘れないでください 。(使徒 26:20; 1 テモテ 6:18; テトス 3:8, 14)

    a. 祭司長や教師たちが、正しい方法でぶどう園（28節）の仕事に入ったとしたら、それはどのような情景でしょうか。(マタイ 10:6-8; マタイ 6:33)

適応: 真理を知った上で、私たちはどのようにすれば、言葉と行いの両面において神の御国の奉仕者になれるのでしょうか？TBCのどのような分野で、神の御国のために働きたいと感じますか？

ディスカッション & 分かち合い

私たちは言葉を慎み、不快感を与えないような発言をしたいと思うかもしれませんが、不快に思う人がいても福音を宣べ伝えなければなりません。このことを念頭に置いて、私たちはどのように言葉と行動で福音を伝えればよいのでしょうか。聖書が教えていることを堂々と伝え、機転を利かせなければならないのはどのようなときでしょうか。

成長 & 奉仕

神への感謝や具体的な祈り課題を集め、互いに祈り合いましょう。